

< 開催要項 >

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会(JGA)ゴルフ規則及び この大会ローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、委員会の裁定は最終である。

3. 使用球

競技者の使用球はR&A発行の公認球リスト(JGAホームページ:www.jga.or.jp)に記載されているものに限る。この条件の違反の罰は、競技失格。 ※本競技ではワンボール条件は適用しないものとする。

4. 使用クラブ

“新溝ルール”を適用、“旧溝ルール適合”のクラブは使用不可。使用の場合、その競技者は競技失格とする。

5. ホールとホールの間での練習禁止

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。

これに違反して練習ストロークした場合、競技者は次のホールで2打の罰を受ける。ただし、ラウンドの最終ホールでのときは、そのホールで罰を受ける。 ※練習グリーンでのパッティング練習を除く

6. プレーの一時中止と再開

①プレーの一時中止(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則6-8b,c,dに従って処置すること。

②険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときには、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレー途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。(規則6-8b注)

③プレーの一時中止と再開の合図について

中止・再開の合図はゴルフ場によって異なるので、険悪な状況になった場合、委員会・ゴルフ場からの案内に注意する事

7. 移動

競技者は、常に歩いてラウンドしなければならない。

8. 険悪な気象条件のため競技が中止になった場合

①競技中止の時点で全員9ホールを消化していれば競技成立、消化していなければ不成立とする。なお、9ホールでの競技成立の場合は、アウトスタート・インスタート各々の最少スコアチームを上位とする。タイスコアが発生した場合は、アウトスタートは9番、インスタートは18番からのカウントバックにより上位を決定する。

②険悪な気象条件で競技不成立と判断された場合、予備日による開催を行う場合もある。

③決勝大会において、険悪な気象条件で競技不成立と判断された場合、予備日による開催を行う場合もある。

9. タイスコアの場合

スコアがタイとなった場合、マッチングスコアカード方式により上位を決定する。

10. 競技終了時点と裁定

本大会は、成績発表がなされた時点で終了となり、その後の変更はしない。ルール処置・その他疑問がある場合は、テスト終了までに申告すること。

11. チェックイン

大会当日における朝のチェックインについて、発表された各自のスタート予定時間の30分前までに 大会受付を終えなければならない。連絡もなく、20分前までに受付しなければ失格とする場合がある。

<競技方法>

◆18ホールズストロークプレーによって行うスクラッチ戦。(中部大会のみ、9ホールを2周)
(関東C予選のみ、17ホールズストロークプレー、決勝大会のみ36ホールズストロークプレー)

◆ティショットはスタートホールにおいてはドロー表の順番とする。

◆処置について疑問のある場合や、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について自信がない場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーして、そのホールを終えることができる。行動を起こす前に、競技者は(イ)規則3-3を援用すること(ロ)規則上許されればどちらの球をカウントしたいかの2点をマーカーに前もって知らせなければならない。どちらの球のスコアも同じであった場合も含め、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。競技者がそれをしなかった場合、競技失格となる。

※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員長の裁定をあおぐこと。

※マーカーとはあくまでも委員会(ゴルフダイジェスト社)がスコアを記録するために指名した人のことで、規則を判断・裁定する権限はありません。最終判断はあくまでも個人ということになり、処置が間違っていた場合には個人のペナルティとなるので、注意すること。

<大会ローカルルール>

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭又は、白線をもってその限界を標示する。
3. ウォーターハザードは大会ローカルルールで指定する場合を除き、黄杭又は黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭又は赤線、無い場合は水際又はコンクリート(木)壁をもってその境界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路とみなす。
6. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者は規則24-2b(i)を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打。
7. 使用禁止の表示のある予備グリーン(カラーを含む)はプレー禁止の修理地(スルー・ザ・グリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は規則25-1b(i)を適用しなければならない。このローカルルール違反の罰は、2打。
8. 樹木保護のための巻き網は樹木の一部とみなすが、球がその巻き網に挟まって止まった場合は、罰なしにその直下の地点から1クラブレンジス以内で、且つホールに近づかない個所に球をドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は、2打。
9. グリーン上に球がある時はパター以外のクラブの使用を禁ずる。但しパターが破損し使用不可能な時はその限りではない。
10. スルー・ザ・グリーン(砂地の場所を除く)のどこでも、自己の球がその勢いで自ら地面に作った穴(ピッチマーク)にくいこんでいるときは、その球は罰なしに拾いあげて、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた地点にできるだけ近い個所にドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。
11. スルー・ザ・グリーンにおいて、新しい張り芝の継ぎ目(目地)に球があるか、それに触れている場合、または意図するスイングの区域の妨げになる場合は、規則25-1bによる救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなす。

12. 固定スプリンクラーヘッドはすべて動かさない障害物であり、これらのものによる障害からの救済は規則24-2によりうけることができる。その他にも球がグリーンから外れてはいるがハザード内でないところにある場合で、そのような障害物(スプリンクラーヘッド)がグリーン上にある時、またはグリーンから2クラブレンジ、球からも2クラブレンジの範囲内にあり、しかも球とホールを結ぶプレーの線上に介在している時は競技者は次のような救済を受けることができる。a) ホールに近づかずに、b) そのような障害を避けられる、c) ハザード内でもグリーンでもない場所で、球のあった箇所にもっと近い所にドロップしなければならない。拾い上げた球は拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は、2打。
13. バンカー内の石は、動かせる障害物とする。(規則24-1)
14. 雨によるバンカー内の流水路跡に入った球は、罰なしに拾い上げ、ホールに近づかず、球の止まっていた箇所にできるだけ近いところにドロップすることができる。(拾い上げた球は拭くことができる)

<表彰>

- ◆予選参加者には参加賞を贈呈する。
- ◆関東予選1位者にメダリスト賞の盾を贈呈する。中部・関西大会優勝者には大会杯を贈呈する。

<注意事項>

- ゴルフ場ごとに競技の条件やローカルルールに追加・変更がある場合は、大会公式掲示板に掲示して告示するので、各自スタート前に必ず確認しなければならない(規則6-1)。
- 大会受付のチェックイン登録には、各自着替えを終え、ウェア・スパイク等プレーに必要な準備を済ませた上で、キャディバッグを持参してスタート30分前には終えておくこと。また、スタート時間10分前には必ずティグラウンド付近で待機すること。やむおえずスタート時刻に遅れそうなときは、各自のスタートの40分前までに必ず、事務局携帯電話又はゴルフ場まで連絡を入れること。
- プレーは原則スループレーとなり、飲食は各自で対応すること。(施設により食事休憩の対応がとれません)
- 手引きカートの本数が限定され、参加人数に満たない場合、希望しても担ぎによるプレーとなる場合がある。
- クラブハウス内、ロッカー、シャワー室、着替え等が用意できない場合がある。
- グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 本大会は大会指定のティマークを使用する。
- ドローは諸般の事情により当日変更もありうる。なお、ペアリング(ドロー)は事務局が決定する。
- プレー中はマナーを遵守するとともに、スロープレーは厳禁とする。前組との間隔を1ホール以上空けることのないよう注意すること。ハーフラウンドを原則1時間15分とし、1時間40分を超えた場合にはペナルティを課すことがある。
- OBまたはロストボールの可能性のある場合には、暫定球の処置を行うか又は特設(ドロップエリア等)でのプレーを選択できる。
- コース内に携帯電話の持ち込みをしない(誤解を招く行為はしないこと)。
- 距離計測器などの人工の機器(規則14-3)は使用可
- 近年主流の素振り棒・スタンス棒などは異常な用具(規則14-3)に該当するので、使用できない。
- ギャラリー(応援者)はコース内に立ち入ることができない。
- 学生は(大学生以下)は参加不可。
- 決勝大会において、予選通過者が出場を辞退した場合、およびエントリー締切りまでにエントリーされなかった場合、出場

を辞退したものと見なし、次者(該当予選およびスコアを考慮)から順次繰上げとする。

- 主催者の責に帰すべき事由によるもの以外に、大会中に発生した傷害・事故等については 一切責任を負わない。
- 日本国刑法に問われている者、或いは現在、過去において暴力団に関係する者及びこれら に準ずると判断される者は、本競技の参加を認めない。
- 本競技の品位を損なう行為があった場合は、プレー中であっても即刻、競技への参加を取り消すこともある。
- 参加者の顔写真および氏名等を使用する権利は大会事務局に帰属する。
- 申込者の個人情報が出場大会に関する案内・連絡に利用する他、ゴルフダイジェスト社よりイベント・出版物・販売物等の資料送付に利用することがあるので、希望しない場合は大会事務局まで連絡をすること。
- 申込者の個人情報はゴルフダイジェスト社が責任管理し、業務委託先以外の第三者に開示・提供することはない(法令などにより開示を求められた場合は除く)。

<その他>

- 最終結果は競技終了後、大会公式掲示板に掲示する(2日後にはパー3ゴルフWEBでも確認可能)。
- 予選通過枠については各会場にて発表する(参加者比例配分)。
- 変更・追加が出た場合は、大会公式掲示板に告示する。

大会に関する問合せ・キャンセルの連絡先 パー3ゴルフ事務局

電話:03-3431-3060 (平日10:00~18:00)